

eSATA インターフェイスボード オンラインマニュアル

オンラインマニュアルについて

本オンラインマニュアルでは、製品の使用方法や取り扱い上の注意事項などを記載しています。別紙のセットアップガイドとあわせてご参照ください。

目 次

取扱い上のご注意	2
付属品の確認	4
第 1 章 はじめに	5
1 . 1 製品の特徴	5
1 . 2 使用環境について	6
1 . 3 各部の名称	8
1 . 4 設定について	9
第 2 章 OS 起動をサポートしない場合の設定と使い方	10
2 . 1 パソコンに取り付ける	10
2 . 2 ドライバのインストール	11
2 . 3 インストール結果について	13
2 . 4 アンプラグツールの使い方	14
第 3 章 OS 起動をサポートする場合の設定	16
3 . 1 注意事項	16
3 . 2 設定について	17
第 4 章 トラブルシューティング	23
ハードウェア仕様	25

取扱い上のご注意

必ずお読みください

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かを注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

警告

接続時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



濡れた状態で使用しないでください。

本製品に水などの液体が付着した状態でパソコンに接続しないでください。故障、感電、火災の原因となります。



絶対に分解 / 改造しないでください。

感電や火災の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



⚠ 注意

故障などに備えて本製品に接続した機器に保存されているデータは、必ず定期的に他のメディアなどにバックアップを取っておいてください。万一データが消失した場合でも弊社では一切の保証をいたしかねます。



接続時、感電／火傷等に注意してください。

- ・ パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・ 電源OFF直後のパソコン本体内部には、高温の部分(CPUなど)があります。火傷しないように注意してください。
- ・ パソコン本体内部や本製品の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



ケガに注意



感電注意 高温注意

静電気対策をしてください。

本製品には、静電気に弱い部品があります。接続の前にパソコン本体の金属が露出している部分に触れて、体内の静電気を放電してから作業を行ってください。また、本製品の不要な部分にはなるべく触れないでください。



静電気対策

金メッキ部分には触れないでください。

本製品の金メッキ部分はパソコン本体と直接接続されます。接触不良を防止するため、直接手で触れないでください。



高温・多湿の場所、ホコリの多い場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



付属品の確認

eSATA インターフェイスボード	1 枚
ソフトウェア CD-ROM	1 枚
セットアップガイド	1 枚

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用
ください。

第1章 はじめに

1.1 製品の特徴

LHA-SA32PE は、PCI Express バス用の eSATA I/F ボードです。本製品の以下の特徴は以下の通りです。

製品の特長：

最大 300MB/s の高速データ転送が可能な Serial ATA Revision 1.0a に対応し、USB 2.0 と比べて約 5 倍（理論値）の高速データ転送が可能です。また、接続する eSATA 機器の「ホットプラグ」にも対応します。

eSATA コネクタを、「外部に 2 ポート」装備しています。2 ポートは同時に使用可能です。

接続したハードディスクからの起動も可能です。なお、本製品搭載のブート機能スイッチにより、起動機能の ON / OFF の切り替えが可能です。

EU の「RoHS 指令（電器・電子機器に対する特定有害物質の使用制限）」に準拠した、環境にやさしい製品です。RoHS 指令の対象物質である鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニール、ポリ臭化ジフェニルエーテルについて、許容値をクリアしています。



ご注意

- ・ 本製品は省電力機能はサポートしていません。必ずこれらの機能は OFF にしてご使用ください。
 - ・ 本製品は Low Profile PCI には対応しておりません。また PCI スロットには接続できません。ご注意ください。
-

1.2 使用環境について

対応パソコンについて

本製品は以下のパソコン本体に接続して使用することができます。全て PCI Express バスの拡張スロット (PCI Express Specification Rev 1.1 以降) を搭載した機種に限定されます。本製品は Low Profile PCI には対応しておりません。また PCI スロットには接続できません。ご注意ください。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

対応 OS について

本製品は以下の OS で使用することができます。すべて日本語 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition/Professional Service Pack 1 以降
Windows 2000 Professional Service Pack 4 以降

RAID機能は未サポートです。起動ディスクを接続する場合でも、ダイナミックディスク等の設定は行わないでください。

OS起動をサポートする場合、OSインストール時にフロッピーディスクドライブが必要になります。

同時に複数枚のeSATAインターフェースボードを使用することはできません。ServicePackの確認方法については次ページをご参照ください。

本製品は Windows Me、98 (Second Edition 含む) や、Macintosh 環境ではご使用になれません。

当社 DOS/V 対応製品は、一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

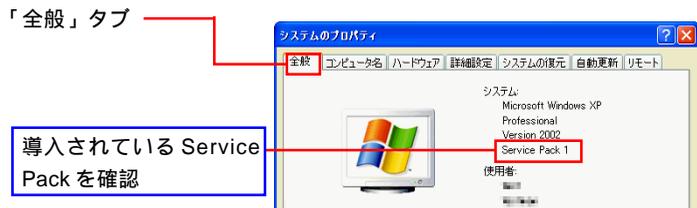
そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご理解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

Service Pack の確認方法

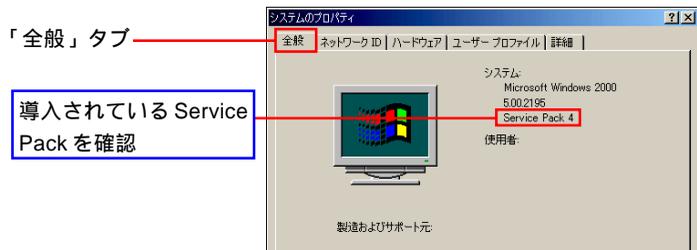
Windows XP、Windows 2000 の Service Pack のバージョンを確認する方法は以下の通りです。

「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」を選択し、「システムのプロパティ」ウィンドウを表示させてください。

「全般」タブが選択されていることを確認し、「システム」の項で、導入されている Service Pack を確認してください。



Windows XP の場合



Windows 2000 の場合

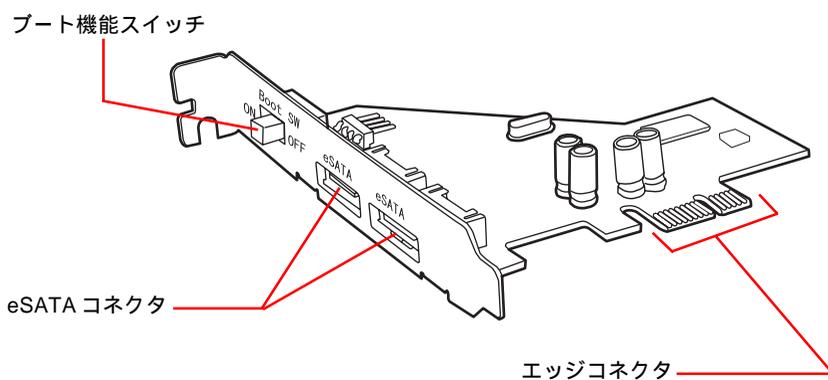
該当する Service Pack がインストールされていない場合は、本製品を接続する前に Windows Service Pack をインストールしてください。Windows の Service Pack は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードするか、または、マイクロソフト社から Service Pack の CD-ROM ディスクを入手（有償）する必要があります。（詳しくはマイクロソフト社のホームページをご参照ください。）



参考

Service Pack とは、マイクロソフト社がプログラムの更新や修正を 1 つにまとめて提供しているものです。

1.3 各部の名称



ブート機能スイッチ

本製品に接続する eSATA ハードディスクからの起動サポートの ON/OFF を切り替えます。

起動をサポートする場合は ON に、未サポートとする場合は OFF に設定してください。

eSATA コネクタ

外付型の eSATA 機器との接続に使用します。

エッジコネクタ

PCI Express バスの拡張スロットに接続する部分です。この部分に直接手を触れないでください。

1.4 設定について

本製品は、本製品に接続する機器の使用用途により設定手順が異なります。以下をご参照ください。

本製品に接続した機器をデータの保存用途として使用する場合

別紙のセットアップガイドをご参照ください。

セットアップガイドがない場合は、「第2章 OS起動をサポートしない場合の設定と使い方」をご参照ください。

本製品に接続した eSTA ハードディスクから OS を起動させる場合

「第3章 OS起動をサポートする場合の設定」をご参照ください。

第 2 章

OS 起動をサポートしない 場合の設定と使い方

2 . 1 パソコンに取り付ける

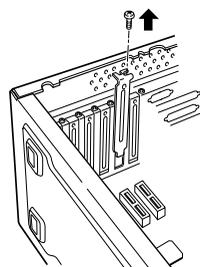


重要なお注意

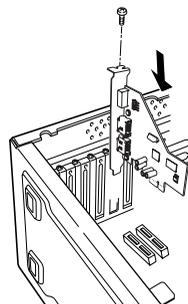
- ・ 取り付け作業は、必ずパソコン本体の電源を OFF にして、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ ここでは、一般的な DOS/V パソコンを例にご説明いたしますが、具体的な接続方法はご試用になるパソコン本体により異なります。また、パソコンによってはケースの取り外しなどに特別な金具を必要とする場合がございます。接続の際は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

パソコン本体の取扱説明書などを参照して、パソコン本体のカバーを取り外します。

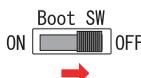
本製品を接続する PCI バスの拡張スロットを選択し、スロットカバーを取り外します。



本製品を PCI 拡張スロットにセットします。完全にセットされたことを確認したら、ネジで固定してください。



本製品のブート機能スイッチは OFF のままご使用ください。



全ての接続が終了したら、パソコン本体の上部カバーを元に戻します。
このときケーブルなどを挟み込まないようにご注意ください。

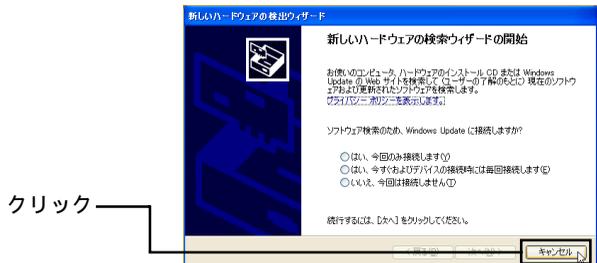
2.2 ドライバのインストール

本製品をパソコンに接続したら、次は必要なドライバのインストールを行います。インストール手順は以下をご参照ください。

なお、説明にはWindows XPの画面を使用していますが、設定手順はWindows 2000の場合も同じです。

パソコンの電源をONにして管理者権限のあるユーザー(「コンピュータの管理者」や「Administrator」など)としてシステムにログインしてください。

システムが起動すると新しいハードウェアの検出ウィザード」のウィンドウが表示されますが、ここではドライバのインストールは行いませんので、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。



本製品に付属のCD-ROMをパソコンのDVD/CDドライブにセットしてください。

セットアップランチャーが起動して以下のウィンドウが表示されます。「ソフトウェアの選択」欄から、「ドライバ」アイコンを選択して「セットアップの起動」ボタンをクリックしてください。



2.2 ドライバのインストール

インストールの確認ウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



必要なファイルがハードディスクに転送されます。インストール完了ウィンドウが表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



CD-ROMを取り出し、Windowsを再起動してください。システム起動時にドライバが自動的にインストールされます。

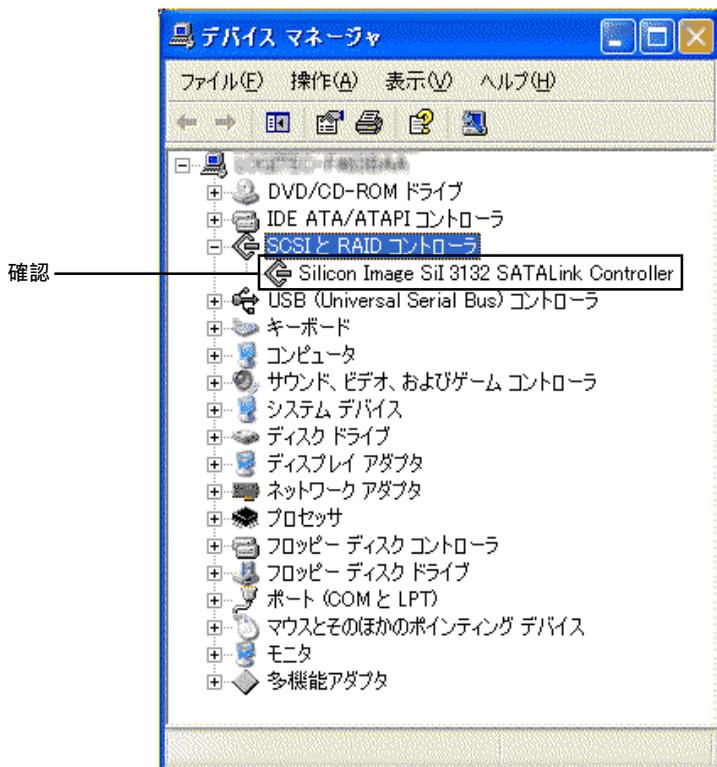
以上でドライバのインストールは完了です。

2.3 インストール結果について

ドライバのインストール結果は、デバイスマネージャから確認できます。「マイコンピュータ」を右クリックして、表示されるサブメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されたら、「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

以下のように「SCSIとRAIDコントローラ」の下に「Silicon Image SiI 3132 SATALink Controller」が表示されていれば、本製品は使用することができます。



2.4 アンプラグツールの使い方

本製品には接続するeSATA機器のホットプラグに対応するためのアンプラグツールが付属しています。アンプラグツールをインストールするとOSの起動中に本製品の接続・取り外しができるようになります。

インストール方法

付属のCD-ROMをパソコンのCD/DVDドライブにセットして、「セットアップランチャー」が起動したら「アンプラグツール」のアイコンを選択し、「セットアップの起動」ボタンをクリックしてください。



ウィザードが起動しますので、この後は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

Point

ポイント

アンプラグツールをインストールする際は、管理者権限のあるユーザーとしてシステムにログオンしている必要があります。

使い方について

アンプラグツールはOSの起動中に本製品に接続されたeSATA機器の取り外しを行う際に使用します。取り外しの際は以下の手順に従ってください。

Point

ポイント

複数の機器を接続している場合は、取り外しを行う機器を良くご確認ください。

取り外しを行う機器内のデータファイルが開かれていないこと、機器に対してアクセスが行われていないことを確認してください。

タスクバーにアンプラグツールのアイコンが表示されますので、これをクリックして表示されるメニューから、取り外しを行うデバイスをクリックしてください。取り外し処理が開始されます。



取り外し処理が完了すると、「デバイスは取り外すことができます。」とメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックして、接続デバイスを取り外してください。



第3章

OS 起動をサポートする 場合の設定

3.1 注意事項

本章では本製品に接続したeSATAハードディスクドライブからの起動をサポートする場合についての設定及び注意事項をご説明いたします。設定を行う前に、以下の注意事項をご確認ください。

- ・ 一般的にOSの再インストールを行う場合、メーカーなどの補償は受けられなくなります。また、弊社では、本製品に接続したeSATAハードディスクへのOSの再インストールに関する保証・サポートは一切行っておりません。これを行う場合は、お客様ご自身の責任で行ってください。コンピュータに詳しい知識のない方には、起動ハードディスクの変更はお勧めいたしません。
- ・ メーカー製のパソコンなど、リカバリディスクなどからOSの再インストールを行うタイプのものは、本製品に接続したハードディスクへのリカバリ（OSの再インストール）はできません。
- ・ 市販のバックアップ・リカバリ用ソフトウェアの中には、本製品に接続したハードディスクへのバックアップ・リカバリが可能なものもありますが、可能であるかどうかはソフトウェアにより異なります。弊社では、市販のソフトウェアを使用したリカバリ手順についてのサポートは一切行っておりません。
- ・ OSの再インストール中に、本製品のドライバを読み込ませるためにパソコンに搭載されているフロッピーディスクドライブにドライバファイルをコピーしたフロッピーディスクが必要になります。このためフロッピーディスクドライブが搭載されていないパソコンでは本製品に接続したハードディスクへOSの再インストールはできません。
- ・ OSの再インストール時に、誤操作などにより、それまで使用していたシステムデータの消失を防ぐため、重要なデータがある場合は、あらかじめ別のメディアへデータのバックアップを行っておいてください。
- ・ **本製品に接続したハードディスクへOSを再インストール後は、必ずそのハードディスクは本製品のeSATAコネクタに接続してください。ハードディスクには本製品専用のドライバが組み込まれるため、他のインターフェースに接続しても、OSが起動しません。**

3.2 設定について

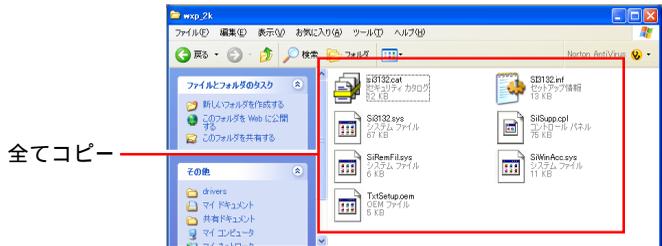
OS 再インストール前の準備

パソコンのフロッピーディスクドライブに記録可能なフロッピーディスクをセットしてください。

付属 CD-ROM をパソコンの CD/DVD ドライブにセットして、セットアップランチャーが起動したら、「CD の参照」ボタンをクリックしてください。



CD に収録されているファイル・フォルダの一覧が表示されますので、「Drivers」フォルダを開き、その中にある「wxp_2k」フォルダを開いてください。「wxp_2k」フォルダ内の全てのファイルをフロッピーディスクにコピーしてください。



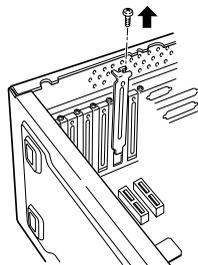
パソコンの電源をOFFにし、パソコン本体の取扱説明書などを参照して、パソコン本体のカバーを取り外します。



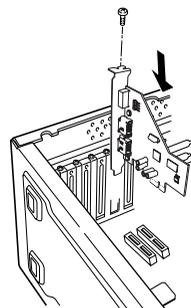
重要なお注意

- ・ 取り付け作業は、必ずパソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ ここでは、一般的なDOS/Vパソコンを例にご説明いたしますが、具体的な接続方法はご試用になるパソコン本体により異なります。また、パソコンによってはケースの取り外しなどに特別な金具を必要とする場合がございます。接続の際は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

本製品を接続するPCIバスの拡張スロットを選択し、スロットカバーを取り外します。



本製品をPCI拡張スロットにセットします。完全にセットされたことを確認したら、ネジで固定してください。



本製品のブート機能スイッチをONに設定してください。



設定手順

OSの起動をサポートする場合、フロッピーディスクに保存した本製品用のドライバはOSのインストール作業中に必要になります。

パソコンの電源がOFFになっている状態で、本製品にハードディスクドライブを接続して、ハードディスクの電源をONにしておいてください。

- ・ このときは、まだ、フロッピーディスクはセットしないでください。

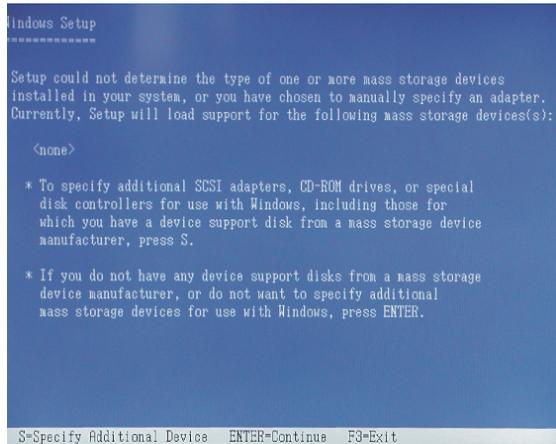
WindowsのインストールCD-ROMをパソコンのCD/DVDドライブにセットしてインストールを開始します。

- ・ 対応するOSはWindows XP/2000のみです。その他のOSはインストールできませんのでご注意ください。
- ・ BIOSがCD/DVDドライブからの起動に対応していない場合は起動用ディスクにフロッピーディスクが必要な場合があります。詳しくはご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。
- ・ BIOSがCD/DVDドライブからの起動をサポートしている場合でも、起動順序に内蔵のハードディスクが先に来ている場合は、インストールCDをセットしただけではOSのインストールは始まりません。この場合はBIOSの設定で起動順序の一番にをCD/DVDドライブを指定してください。

セットアップが開始され、画面の下部に「Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver...」と表示されたら、「F6」キーを押してください。

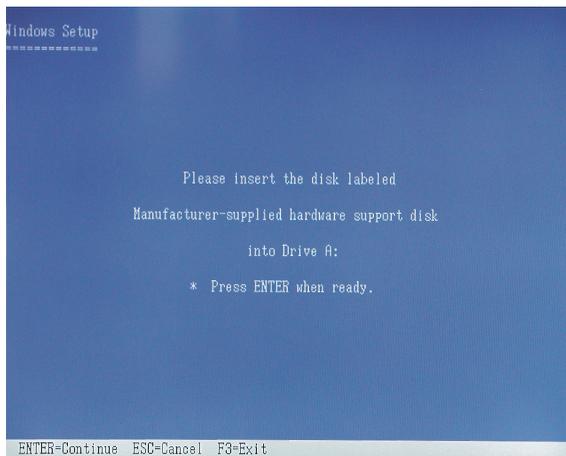
Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver...

以下の画面に切り替わったら、「S」キーを押してください。



この画面が表示されるまでは数秒から数十秒かかります。もし、異なる画面に切り替わった場合、手順 の画面で「F6」キーを押すのが遅かったことが考えられます。その場合は、いったんパソコンの電源を切り、手順 からやり直してください。

以下のメッセージが表示されたら、ドライバをコピーしたフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、「Enter」キーを押してください。



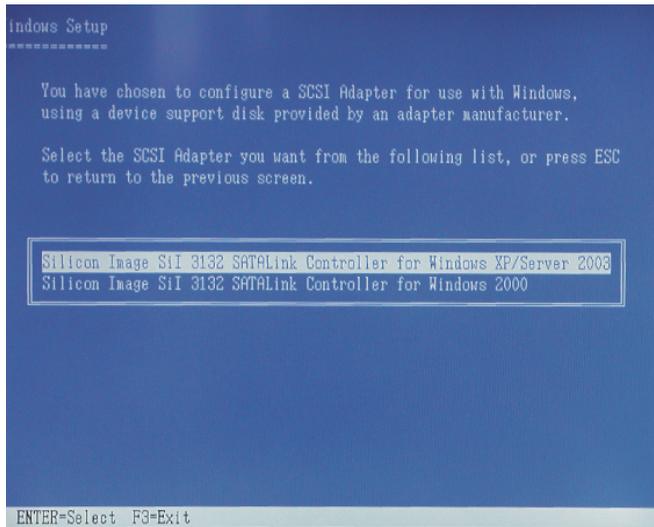
以下のドライバ選択の画面が表示されます。ご使用のOSにあわせて、以下を選択してください。

Windows XP をご使用の場合

Silicon Image Sil 3132 SATALink Controller for Windows XP/Server 2003

Windows 2000 をご使用の場合

Silicon Image Sil 3132 SATALink Controller for Windows 2000



確認画面が表示されますので、選択したドライバ名が表示されていることを確認し「Enter」キーを押してください。

```
Windows Setup
*****

Setup will load support for the following mass storage device(s):

    Silicon Image SiI 3132 SATALink Controller for Windows XP/Server 2003

* To specify additional SCSI adapters, CD-ROM drives, or special
  disk controllers for use with Windows, including those for
  which you have a device support disk from a mass storage device
  manufacturer, press S.

* If you do not have any device support disks from a mass storage
  device manufacturer, or do not want to specify additional
  mass storage devices for use with Windows, press ENTER.

S=Specify Additional Device  ENTER=Continue  F9=Exit
```

この後は画面の指示に従ってOSのインストールを行ってください。

インストールが完了すると、本製品に接続したハードディスクからOSが起動するようになります。

- ・ OS再インストール後に、パソコンを起動したら、内蔵ハードディスクから起動した場合は、BIOS上で起動ドライブの優先順位を変更する必要があります。
- ・ 本製品に接続したハードディスクユニットにOSをインストールした場合、省電力機能は必ずOFFにしてください。

第4章

トラブルシューティング

デバイスマネージャ上に「SCSIとRAIDコントローラ」が表示されない。

デバイスマネージャは「種類別に表示」する設定（初期設定）になっていませんか？「接続別に表示」する設定だと、他の項目の下になるため、最初にウィンドウを開いたときに見えません。

一度システムを終了して、再起動してみてください。

本製品が拡張スロットにしっかりと挿入されているかどうかを確認してください。斜めに浮いていたり、ゴミなどによって接触不良が起っていませんか？

本製品を接続している拡張スロットを変更してみてください。

デバイスマネージャで「Silicon Images Sil 3132 SATALink Controller」に「！」マークが付いている。

本製品を接続している拡張スロットを変更してみてください。

本製品の使用するシステムリソース（IRQやI/Oアドレスなど）が、他の機器と競合している可能性があります。使用しない機器を取り外したり、使用しない機能を停止状態にしてリソースを確保するか、他の機器のリソースを変更してみてください。

ストレージ機器を接続したが認識されない。

ストレージ機器の電源はONになっていますか？

eSATAケーブルはきちんと接続されていますか？ 接触不良はありませんか？

接続したのはHDユニットではありませんか？ Windows環境の場合、HDユニットはフォーマットが終了しないと、「マイコンピュータ」にアイコンが登録されません。

デバイスマネージャの「SCSIとRAIDコントローラ」の「Silicon Images Sil 3132 SATALink Controller」に、「！」マークが付いていませんか？このマークがついている場合は、先にそちらのトラブルシューティング項目を参照してください。

ストレージ機器には特有の設定が必要なものもあります。ストレージ機器のトラブルシューティングも参照してください。

省電力モードから復帰できない。

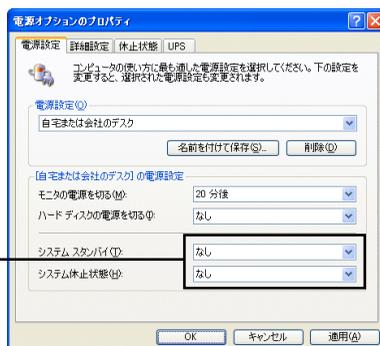
本製品は省電力モードをサポートしていません。省電力機能はOFFにしてご使用ください。

Windows XP ,2000で省電力機能をOFFにするには、「コントロールパネル」 「電源オプション」を起動します。(Windows XPの場合、これはクラシック表示での起動方法です。)

以下のウィンドウが表示されたら、「システムスタンバイ」、「システム休止状態」を「なし」にして、OKボタンをクリックしてください。(「システム休止状態」は下のように表示されない場合もあります。)

「なし」に設定

Windows XP の例



ハードウェア仕様

機種名		LHA- SA32PE	
対応バス		PCI バス Express x 1バス (PCI Express Specification Rev 1.1 以降)	
インターフェース		Serial ATA Revision 1.0	
最大データ転送速度 1		3 Gbps	
コネクタ数		外部 2 ポート	
コネクタ形状		eSATA 7ピン	
環境条件 2	動作時	温度	5 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	20 % ~ 90 %
入力電圧		DC + 3V ± 0.3 V 3	
消費電流		410 mA	
外形寸法 縦 × 横		89.5 x 90 mm 4	
質量		45 g	

- *1 理論値。
- *2 ただし結露なきこと。
- *3 PCI Express バスより供給
- *4 スロットカバー除く、

保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。

故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）

サポート / 修理受付窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。
FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態(できるだけ詳しく)

製品の名称/シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先(ナビダイヤル)

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日～金曜日(祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く)

携帯電話(FAX)、PHS(TEL、FAX共)、IP電話(TEL、FAX共)、ひかり(光)電話はご利用になれません。

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・必ず、「お客様のご連絡先(ご住所/電話番号)」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・保証期間経過後の修理については、お見積りが必要な有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱(本製品の梱装箱、梱包材を推奨します)等に入れて、お送りください。

弊社修理受付窓口(修理品送付先)

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 修理サポートセンター(3番受付窓口)

TEL: 0265-74-1423 FAX: 0265-74-1403

受付時間: 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

月曜日～金曜日(祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く)

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス()等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービス指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただけますよう、お願いいたします。

Logitech eSATA インターフェイスボード・オンラインマニュアル

2006年 5月初版

LHA-SA32PE_ONLINE V01

製造元: ロジテック株式会社
